

15 相馬こどもドーム

相馬市光陽四丁目2-5

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上1階 建築面積: 1,218.36㎡ 機能: ゴムチップ入り人工芝、更衣室 ほか
事業費	- 供用開始日 平成26年12月18日
財源	寄付 100%

株式会社楽天球団が中心となり設立した屋内スポーツ施設建設募金団体より寄付を受け、平成26年12月18日にオープンしました。子どもたちが安心・安全な環境でのびのびと体を動かし、運動不足解消などを目的に建設された屋内スポーツ施設です。



16 LVMH子どもアート・メゾン

相馬市中村二丁目2-15

概要	構造: 木造 階数: 地上2階 建築面積: 268.19㎡ 延床面積: 291.48㎡ 機能: 図書閲覧、多目的研修室 ほか
事業費	1億7,754万円 完成日 平成26年7月1日
財源	寄付 約73% 市費 約27%

次世代を担う子どもたちの心のケアを行い、学力向上、情操教育や芸術活動の場を支援するとともに、市民の生涯学習の場を提供する施設です。震災以降、児童生徒や教職員、保護者を対象としたメンタルケア活動を行っている「NPO法人相馬フォロアチーム」の活動拠点としても利用しています。



17 東部子ども公民館

(東部地区) 相馬市尾浜字細田117-1
※(西部地区) 相馬市黒木字町67-1

概要	構造: 木造平屋 階数: 地上1階 建築面積: 361.89㎡ 機能: 遊戯室、放課後児童クラブ室、図書室、子育てサロン室、授乳室 ほか
事業費	1億7,059万円 完成日 平成27年10月30日
財源	国補助等 100%

子育て支援の拠点となるよう、従来の福祉・教育の垣根を越えた子ども公民館を整備しました。この施設を通じて世代間の交流を図り、子どもたちの健やかな成長と健全育成の支援のため、各種活動を行っています。※西部地区にも同様の施設を整備しています。



18 市民プール【愛称: 赤レンガプール】

相馬市中村字桜ヶ丘54-2

概要	構造: 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 階数: 地上1階(一部地下1階) 建築面積: 1,438.58㎡ 延床面積: 1,464.75㎡ 機能: 25m 8コース、幼児用プール
事業費	9億5,358万円 完成日 平成29年3月22日
財源	国補助等 100%

開閉式ガラス屋根を備えた、天候に左右されない屋内型のプールです。災害時にはプールの水を生活用水として活用できるほか、火災時には消火用水としての利用が可能です。【利用期間: 5月~10月】



19 スポーツアリーナそうま 第二体育館

相馬市中村字北町55-1

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上2階 建築面積: 1,418.15㎡ 延床面積: 1,521.70㎡ 機能: アリーナ、軽運動場、ホール、倉庫、器具庫、男女更衣室 ほか
事業費	5億247万円 完成日 令和2年4月4日
財源	国補助等 約92% 市費 約8%

東日本大震災により被災した旧川沼体育館の代替施設として、市民の健康づくりやスポーツ振興を図ることを目的とし、スポーツアリーナそうま第一体育館に併設しました。第一体育館と一体的に活用する等、各種スポーツ競技の会場として、多くの市民が利用しています。



20 歴史資料収蔵館

相馬市中村字北町51-1

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上2階 建築面積: 592.30㎡ 延床面積: 1,061.76㎡ 機能: 展示室、収蔵室、研修室 ほか
事業費	4億2,100万円 完成日 平成26年7月26日
財源	県補助等 約42% 市費 約58%

老朽化した旧施設に代わる新たな施設を整備し、次世代へ継承すべき相馬の歴史等に関する収蔵資料を保存しています。また、研修室等を利用して体験学習など、子どもたちや観光客を含む来館者に相馬の歴史をわかりやすく解説し、文化交流拠点として活用しています。



21 郷土蔵

相馬市中村字北町51-1

概要	構造: 鉄骨造 階数: 地上2階 建築面積: 164.07㎡ 延床面積: 265.45㎡ 機能: 展示室、事務室、倉庫 ほか
事業費	9,871万円 完成日 平成26年7月26日
財源	国補助等 100%

震災で被災し喪失の恐れのある民俗資料(日常生活に使用されていた古い農具や漁具、民具等の道具類)を収集保存し後世に伝承していくとともに、郷土の歴史伝統文化を市民のみならず多くの人に発信し観光交流施設として活用することで、震災後の地域活性化を図ります。



相馬市復興施設 かわら版

最終号

令和3年10月発行
相馬市役所企画政策課
電話0244-37-2614

2011年3月11日発災の東日本大震災による被災から再建した施設や、震災後新たに整備した主な施設について、その概要を掲載しています。



1 市役所庁舎

相馬市中村字北町63-3

概要	構造:鉄骨造、基礎下免震工法 階数:地上4階 建築面積:3,852.63㎡ 延床面積:9,534.17㎡ 機能:各課執務室、議場、会議室 ほか
事業費	49億8,000万円 完成日 平成28年10月11日
財源	国補助等 約32% 基金 約35% 市債33%

東日本大震災並みの地震が再び起こった場合、旧庁舎では防災拠点としての機能が果たせないことから、新たな庁舎を建設しました。
新庁舎は、市民の安全・安心の確保に努めるため、免震構造で自家発電設備を有しています。飲料水や毛布等を備蓄しており、大災害時には避難所としても活用できます。



2 防災備蓄倉庫【愛称:相馬兵糧蔵】

相馬市坪田字宮東25

概要	構造:鉄骨造 階数:地上2階 建築面積:1,064.90㎡ 延床面積:1,245.96㎡ 機能:備蓄倉庫、自家発電設備、研修室、炊飯設備 ほか
事業費	3億1,636万円 完成日 平成25年7月31日
財源	国補助等 100%

東日本大震災の教訓を生かし、有事に備えるため、自家発電設備を有し、飲料水や非常食、毛布等を備蓄する倉庫を建設しました。
相馬市の被災時だけでなく、近年全国で多発する自然災害の被災地へ、積極的に支援・物資提供を行っています。



3 復興交流支援センター

相馬市光陽三丁目3-1

概要	構造:木造平屋 階数:地上1階 建築面積:649.44㎡ 延床面積:630.88㎡ 機能:会議室、更衣室、シャワー室、事務室、倉庫 ほか
事業費	2億8,949万円 完成日 平成25年9月30日
財源	国補助等 100%

光陽サッカー場内に、住民が集う交流の場であり、周辺スポーツ施設利用者の休憩場所として活用できる施設を整備しました。
災害時には、近隣住民や工業団地で働く方々の避難場所として機能する等、沿岸部の防災拠点にもなります。



4 磯部コミュニティセンター

相馬市磯部字狐穴647-4

概要	構造:鉄骨造 階数:地上1階 敷地面積:2,301.44㎡ 延床面積:419.28㎡ 機能:事務室、会議室、調理室 ほか
事業費	1億1,992万円 完成日 平成25年7月13日
財源	寄付 100%

東日本大震災により全壊した磯部公民館に代わる施設として、シンガポール赤十字社からの支援金を活用し整備しました。
被災した磯部地区の人々の交流拠点であり地域の防災拠点となる施設です。



5 細田ポンプ場

(細田地区)相馬市尾浜字札ノ沢70
※(松川地区)相馬市尾浜字港町2-37

概要	構造:鉄筋コンクリート造 階数:地上4階 建築面積:947㎡ 延床面積:1,493㎡ 機能内容:排水ポンプ (内径1,200mm2台、内径500mm1台)
事業費	51億7,588万円 完成日 平成28年10月1日
財源	国補助等 98% 市費 約2%

東日本大震災の地震による地盤沈下に伴い、満潮時や雨天時に道路や住宅地が冠水し、生活に支障をきたしていました。地域の安心、安全な住環境の整備を図るために、恒久的な排水対策としてポンプ場を整備しました。
※松川地区にも同施設を整備しています。



6 尾浜こども公園

相馬市尾浜字北ノ入140

概要	敷地面積:6.86ha 機能:尾浜交流館(屋内遊び場)、芝生広場、遊具広場 ほか
事業費	13億2,742万円 完成日 令和2年10月16日
財源	国補助等 100%

津波による甚大な被害を受けた住宅跡地を活用し、相馬市の復興のシンボルとなる公園を整備しました。コンセプトを「子どもたちが遊び、人が集い交流できる憩いの場」として、市内外から多くの方に訪れ楽しんでいただけるよう、大きな屋外遊具やフラワーパークの他、遊具を備えた屋内遊び場も併設しています。



7 慰霊碑・伝承鎮魂祈念館

相馬市原釜字大津270(笠岩公園)
相馬市磯部字狐穴12-2(旧磯部公民館)

概要	◆慰霊碑(H26.3.11建立) 材質:御影石 ◆伝承鎮魂祈念館(H27.3.11竣工) 構造:鉄骨造 階数:地上1階 建築面積:236.20㎡ 機能:研修室、ホール、事務室 ほか
事業費	1億9,925万円 完成日 平成27年4月1日
財源	国補助等 約90% 市費 約10%

震災犠牲者の慰霊のため、原釜地区、磯部地区に犠牲者の御芳名を刻んだ慰霊碑を建立しました。また、原釜地区には、東日本大震災をいつまでも忘れることなく記憶にとどめ、遺族等の心の拠り所となる伝承鎮魂祈念館を併設しました。



8 千客万来館・中央公民館

相馬市中村字北町55-1

概要	構造:鉄骨造 階数:地上2階 建築面積:775.73㎡ 延床面積:940.74㎡ 機能:研修室兼観光案内所、調理実習室、和室、ホール ほか 市費 約7%
事業費	3億3,768万円 完成日 平成27年2月15日
財源	国補助等 約50% 寄付 約43%

千客万来館は、日本全国からの誘客、そして市の観光交流の拠点となる施設として整備しました。
自然やスポーツなどの観光情報の提供や宿泊案内などを行うとともに、復興視察ツアーの実施などを通して、市内県外の方々へ相馬市の魅力を発信しています。



9 和田地区いちご水耕栽培施設

相馬市和田字下柴迫94

概要	・大型鉄骨ハウス8m×4連棟×45m 1棟 ・大型鉄骨ハウス8m×6連棟×45m 2棟 ・大型鉄骨ハウス8m×6連棟×34m 1棟 ・育苗ハウス 5棟 ・苗置ハウス 4棟
事業費	3億3,138万円 完成日 平成25年10月31日
財源	国補助等 100%

津波により甚大な被害を受けた和田地区の基幹産業の復興を図るため、高設の水耕栽培設備を導入した大型いちごハウスを整備しました。
いちご狩りシーズン(1月~5月)には、市内外からたくさんの方がいちご狩りに訪れ、直売コーナーは行列ができるほど賑わいます。



10 相馬復興市民市場【愛称:浜の駅松川浦】

相馬市尾浜字追川196

概要	構造:鉄骨造 階数:1階 延床面積:996㎡ 機能:水産物・農産物・お土産の販売、食堂 ほか
事業費	4億2,418万円 開場日 令和2年10月22日
財源	国補助等 約90% 市費 約10%

原発事故の風評払拭と浜の賑わいの創出を目的とし、津波で流出した「水産物直売センター」に代わる施設として整備しました。
目の前の漁港で水揚げされた新鮮な魚介類をはじめ、水産加工品、旬の野菜やフルーツなど、様々な相馬市産品を販売しており、店内の食堂も行列ができる人気です。



11 磯部水産加工施設

相馬市磯部字大迎1128

概要	構造:鉄筋コンクリート造 階数:地上一部2階 建築面積:3,808.67㎡ 機能:水産加工施設、管理事務室 ほか
事業費	18億8,087万円 完成日 平成28年2月10日
財源	国補助等 約99.9% 市費 約0.05%

水産物の安定供給と水産業の早期本格操業を実現するため、漁業者、水産加工業者が共同で利用する水産加工施設を整備しました。
磯部地区で震災前に盛んだった水産加工品や、磯部漁港で水揚げされたホッキ貝などの新鮮な魚介類を直売しています。



12 原釜荷捌き・共同集配・海水浄化施設

相馬市尾浜字追川196

概要	構造:鉄筋コンクリート造 階数:地上一部3階 建築面積:9,574.16㎡ 機能内容:荷捌き、集配、海水浄化
事業費	34億806万円 完成日 平成28年12月6日
財源	国補助等 約99.9% 市費 約0.1%

水産物の早期安定供給と水産業の早期本格操業を実現するため、漁業者が共同で利用する荷捌き施設や漁労作業スペースなどの周辺環境を整備しました。
安全・安心な水産物の提供を行い、正確な情報を発信することで、風評の払拭に取り組みます。



13 原釜漁具倉庫施設

(原釜地区)相馬市尾浜字追川196
※(磯部地区)相馬市磯部字大洲38-3

概要	構造:木造 階数:地上一部2階 建築面積:3,935.03㎡ 延べ面積:5,190.79㎡ 機能内容:漁具倉庫(底曳:4棟48区画、小型:7棟84区画)
事業費	6億5,255万円 完成日 平成26年7月14日
財源	国補助等 約99% 市費 約1%

新たな住宅地整備に伴い、漁業者の職住分離の新しい漁業形態を支える施設として、漁具等を保管する倉庫を整備しました。
水産業の早期本格操業を実現するため、基盤再生に必要な当施設の有効活用を図ります。
※磯部地区にも同施設を整備しています。



14 初野射撃場

相馬市初野字栗原287

概要	構造:鉄筋コンクリート造、鉄骨造 階数:地上1階 敷地面積:21,708.67㎡ 建築面積:148.52㎡ 機能:ライフル射撃場、トラップ射撃場、倉庫
事業費	7,627万円 完成日 平成30年11月10日
財源	県補助等 約20% 市費 80%

原発事故の影響により増加した、イノシシ等の有害鳥獣による農作物被害への対策として整備しました。
当施設を通して、猟友会員の増加や若手狩猟者の育成、射撃技術向上等、有害鳥獣捕獲事業の推進を図り、農作物被害の減少を目指します。

